

教えて！副院長 ～ちょっと興味のある無痛分娩



日本では、昔から痛みを耐えてこそ、産まれてきた子供がかわいいと言ったような、忍耐への美徳のようなものがあります。さらに最近では、より自然志向が高まり、自然分娩が推奨される傾向があります。当院でもソフロロジー式分娩法を取り入れ、陣痛を痛みとしてではなく積極的な喜びとして自分の中にうまく取り入れていく方法を指導し、自律分娩による感動のある出産を目指しています。

でも、初めてのお産の人は「陣痛耐えられるかしら？」と不安になったり、経産婦さんでも「陣痛の痛みは勘弁して欲しい」と弱気になったりする方もいるでしょう。一生に何度もあることではない分娩、一つの選択肢として無痛分娩を考えてみるのも良いのではないのでしょうか。

無痛分娩にも色々な方法がありますが、現在もっとも行われているのは、硬膜外麻酔によるものです。当院でもこの方法で行っています。

子宮収縮や子宮口開大に伴う痛み、出産時の膣・会陰の痛みは脊髄からの神経によって支配されています。その神経を局所麻酔でブロックするのが硬膜外麻酔です。背中から細いチューブを脊髄の外側の小さなスペース(硬膜外腔)に留置して麻酔薬を投与します。この方法だと、意識ははっきりしたままで、陣痛や分娩の痛みはほとんど感じません。チューブを入れるのが痛いのでは？と心配される方もいますが、これもさほどのことではないようです。

無痛分娩には、陣痛が発来してから行う方法と、計画分娩で行う方法があります。基本的には、陣痛が来てから行うのが良いと思いますが、夜間・休日などは、安全性の理由から麻酔できないこともあります。子宮口が開いてきて、お産の準備が十分に整っている方の場合には、計画分娩で行うことも良いでしょう。我々の経験から、経産婦さんだと計画分娩でも充分満足のいく無痛分娩ができています。初めてのお産の方は、計画分娩だとなかなか分娩が進まず時間がかかることが多く、自然陣痛が来てからの方が良いようです。

硬膜外麻酔では、手術時の麻酔と同様いくつかの合併症が起こる可能性はありますが、重大な問題が起こることは非常に稀ですので、あまり心配されなくても良いと思います。しかし、本来は麻酔などしなくても分娩になるのに、あえて麻酔をするので、ある程度リスクは、受け入れていただく必要はあると思います。

また麻酔の効き方・感じ方にも、ある程度個人差があります。特に初産の方は、圧迫感が残ることがありますが、麻酔を強くすると陣痛が弱くなり分娩が進まなくなることがあるので、ある程度の痛み・圧迫感我慢していただいた方が良いでしょう。そのためにも、当院で勤めるソフロロジー式分娩法は、学んでいただいていたほうが良いと思います。

分娩とは、人生における一大事です。この機会にご夫婦・ご家族で出産に対する考えを、リスクなども含めて、話し合われるのも良いことと思います。

☆無痛分娩の説明は当院HPでもご覧いただけます
<http://www.sato-hospital.gr.jp>



※副院長ブログ「雲のように」
<http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/>
 ※最新の不妊治療について紹介しながら、楽しみながら子づくりすることを考える副院長ブログ「Babyは寝て待て」
<http://kumonoyouni.cocolog-nifty.com/makeababy/>
 ※赤ちゃんが欲しい女性と医師のメディカル・コミュニティサイト「HugeHug」
<http://hugehug.jp/>



佐藤病院公認ブログ 「でばり通信」に遊びにきてください!

ブログ「でばり通信」では、院内のフレッシュな情報や職員の様々な体験レポートなどを更新中！佐藤病院をより身近に感じていただけること間違いなしです。是非遊びにきてください。コメントもお待ちしております！

<http://blog.livedoor.jp/debari/>



携帯からも
お楽しみ
いただけます！



QRコード

【2007年6～9月期 佐藤病院実績報告】

- ・外来数 15,264人 (開院日あたり 151人)
- ・入院患者数 7,093人
- ・分娩総数 605人 (前年同期 人)
- ・うちセミオープンシステム利用による分娩 46人 7.6%
- ・帝王切開 73件 (帝王切開率 12.1%)
- ・うち緊急 25件
- ・婦人科手術 77件 うち内視鏡手術 25件

【佐藤病院ニュース】



乳房マッサージ室レポート!

「赤ちゃんが母乳をうまく吸ってくれない」「乳房が張って痛い」など母乳の悩みをかかえている入院中の患者様を対象に、助産師がマッサージを行っています。

担当する大正9年生まれ87才の富沢さと助産師は、助産師歴57年の大ベテラン。その豊富な経験から、マッサージを体験した患者様からは「魔法の手」「神の手」と呼ばれることもあるようです。若い助産師・看護師もその技術習得に懸命です。

マッサージ時間は平均約15分。「指の腹を使って、胸筋と乳房基底部の癒着をほぐすマッサージ」でお乳が噴出す方や、「乳頭と乳輪部のマッサージ」でやわらかく赤ちゃんが吸いやすい乳頭になる方も。

「みなさん、軽くなって楽になったとよるこんで帰られます。」「次の子の時も、またお世話になるから、それまで元気で辞めないでね、と言われるんです。」とうれしそうに話す富沢助産師。



小澤美加さま



まだまだ
がんばります!
富沢さと助産師

入院中に2回、富沢助産師の乳房マッサージを受けられた小澤美加さまにお話を伺いました。

「お産後2日目におっぱいが張ってしまって、痛くて痛くて。赤ちゃんに何度もあげたのですが、うまく飲めていなかったようです。」「マッサージを受ける前は固いかたまりのような胸が、マッサージの後はすごくやわらかくなって、とっても楽になりました。」「最初はマッサージも少し痛く感じましたが、パンパンに張っているあの時の痛みを思えば苦になりません。」「赤ちゃんがうまく吸えないことへのアドバイスもしてもらい、その後、上手に飲めるようになりました。今では体重も増えてきたんですよ。」とよるこびの声。

「ミルクに頼らず、母乳だけで育てていけそうな自信が持てました!」という小澤さまに思わず拍手。小澤さまは、退院直前に再度マッサージを受け、元気に退院されました。

「もっと妊娠中にお手入れしておけば良かった」産後、母乳の悩みを抱えるお母様は少なくありません。妊娠期間中から助産師が乳頭チェックを行い、母親学級では母乳に良い食事のアドバイスなど、母乳育児を病院全体で推進しております。お困りのことがあれば、いつでもスタッフにご相談ください。

「昔と違って、栄養がいいのかなと思いますね。お乳が楽になるようになるまでは、乳製品・洋菓子・もち米の摂りすぎには気をつけてください。」と富沢助産師からのアドバイス。

ホームページ・「佐藤先生のお産百科」リニューアル!

もうご覧いただけただろうか?8月中旬にホームページがリニューアルされました。佐藤病院はお産の専門病院」と思われている方も多いようです。今回のリニューアルでは、産科だけでなく婦人科も力を入れ「女性の生涯にわたる専門病院」を、今まで以上に伝えられるようになりました。

更に、「快適で安全な医療」の提供を心がけている点や、笑顔で働く医師やスタッフの姿も見ただけです。皆様からお問い合わせの多い質問に関しては「よくある質問」のコーナーにまとめ、わかりやすくなったという声もいただきました。また、お問い合わせのフォームも改善し、お気軽にお問い合わせいただけるようになりました。

これにあわせて、母親学級やソフロロジー呼吸法のテキスト「佐藤先生のお産百科」も内容を見直し、改訂いたしました。これから妊娠・出産のご予定の方はホームページとあわせてご利用ください。

写真撮影にご協力くださった患者様、ありがとうございました。

<http://www.sato-hospital.gr.jp/>

第4回TeaTime講演会「夏休み特別企画 親と子の命の授業」が行われました!

8月7日(火)第5回佐藤病院TeaTime講演会「親と子の命の授業」が行われました。23人の親子が参加。親子参加の企画は今回が初めてでお子さんの集中力が続くか心配でしたが、皆真剣に聞いて下さいました。

助産師の紙芝居や院長の「命の尊さ」のお話を聞き、赤ちゃんと同じ体重の人形を抱いたり、自分の心音を聞いたりしました。またお母さんのお腹の中で赤ちゃんが成長する過程を、針穴サイズの受精卵〜ブドウ・メロン・スイカなどの果物で大きさの確認をしました。

中でも、生後3日目の赤ちゃんを間近に見たときは「ちっちゃ〜い」「かわい〜い」とにぎやかでした。「命について子供と真剣に考える機会が持てよかった」「自分が産まれたときどう思ったか親にきいてみたい」などアンケート回答いただきました。

親子で過ごす夏休みを一緒に遊ぶだけでなく、一緒に考える機会が提供できたかなと思います。佐藤病院では今後も、地域の皆様に愛される病院として、色々な企画を考えていきます。お楽しみに!



受精のしくみや胎児のようすをわかりやすく話す院長と佐藤助産師



高崎祭りに参加しました!

今年の夏は本当に暑かったのですが、夏のイベントは楽しいですね。今年は佐藤病院のスタッフ20名以上が8月5日に開催された高崎祭りに参加しました。

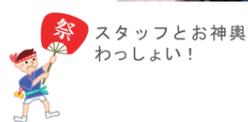
病院前の通り「観音通り商店街」で今年からお神輿を出す事になり、佐藤仁院長が会長となりました。(会の名前は院長の「仁」を取り「龍仁会」)7月から週1回の練習を高崎南小の体育館で行い当日に備えました。

足袋を履いて夏のアスファルトを歩くのは、やけどをするかなと思うほど辛かったのですが、院長は慣れたもので、足袋2枚履きで爽やかな笑顔でした。

午後一番暑い時間帯に大きな掛け声と共に汗を大量にかきながら市内を練り歩きました。お神輿の打ち上げで飲んだビールは格別に美味しかったです。来年は更にパワーアップして楽しんで夏を満喫したいと思います。



観音通り商店街「龍仁会」のみなさん



スタッフとお神輿わっしょい!



第5回胎教コンサートが行われました!

9月26日今年2回目になります胎教コンサート「ママを選んでくれてありがとう」が6F展望レストランで行われました。

歌とピアノはクリスマスコンサートでもお馴染みの安中市出身あかみくみこさん。クラシック曲や子守唄、あそび歌で過ごしたあつという間の1時間でした。

「今の人はこんな素敵なコンサートがあって、恵まれているわね。」と妊婦さんのお母様。「前回のコンサートで感動して、また来ました!」とリピーターの妊婦さん。「子供が欲しくなっちゃいました。」と若いスタッフ。

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。元気な赤ちゃんが生まれますように…。



ゆうゆ・Norikoのシネフレイク

ほくの好きな先生 2002年フランス映画
 監督: ニコラ・フィリペール
 出演: ジュルジュ・ロペス

フランス中部オーベルニュ地方にある小さな小学校に勤めるロペス先生と、そこに通う3歳~11歳までの13人の生徒との日常を捉えたドキュメンタリー。あと半年後に定年退職を控えた先生が、生徒たちに学ぶことの素晴らしさや、心の絆の深さを説く姿を淡々と綴っていく作品です。

『ほくの好きな先生』を観て、私の好きな先生のことを思い出しました。

私は小学校低学年の頃、勉強が嫌いかなりマイペースな子供でした。母はそんな私を心配して、ある塾に通わせました。そこには気丈なおばあちゃん、M先生がタバコをふかしながら、一人で1年生から6年生までの数十名の子供を教えている、昔の寺子屋のような塾でした。

私は「わからないところがわかりません」という情けない状況でしたが、先生は「聞くは一時的恥!聞かぬは一生の恥!」と言っては、根気よく私と向き合ってくれました。時にはゲンコツがとんでく

ることもありました。テストで初めて100点がとれた時、ぎゅっと抱きしめてくれたことは大切な思い出です。M先生は、学ぶことの楽しさだけでなく、私に自信をつけてくれました。

この映画に出てくるロペス先生とM先生は似ています。どんな小さな子供にも一人一人話しかけて、たくさん質問をして子供自身の口からその答えを聞くその一方通行でないところや、生きる上での大切な善悪をきちんと教えてくれるところが本当にそっくりで、子供の頃の自分に戻ったような懐かしい気持ちになりました。

教育とは何か?信頼とはどういうことか?ロペス先生と生徒たちのつながりを見ていて、忘れてしまいがちな物事の本質を思い出させてくれる映画です。是非、ロペス先生の生徒になった気分でご覧ください。またみんなに会いたくなりますよ。

お詫びと訂正 アロマトリートメントサロン「Pure leaf ピュアリーフ」

第12号のアロマ特集で、当院の関連施設アロマセラピーサロン「Pure leaf ピュアリーフ」のホームページアドレスが間違っていました。お詫びして訂正させていただきます。正しいアドレスはこちら!

<http://www.pure-leaf.com>

アロマセラピーサロン「Pure leaf ピュアリーフ」は、当院の元看護師でアロマセラピストが開設したサロンです。佐藤病院敷地内(別館3F)にありますので、入院・通院中の患者様もお気軽にご利用いただけます。メニュー等詳細は当院フロントに設置してありますパンフレットをご覧ください。お問い合わせ・ご予約は

027-327-9503 (佐藤病院内線666) まで



【編集後記】

秋~冬ヴァージョンの外来アロマ芳香浴が始まりました。今年春に試験的に行った外来芳香浴は、予想以上に好評でした。今回は、好評だった柑橘系の香りの中から「グレープフルーツ」フローラル系からは「ローズウッド」、「びやくだん」ともいわれる「サンダルウッド」そしてさわやかな「レモングラス」を3週間交替で行う予定です。それぞれの精油の機能もフロントに掲示しますので、興味のある方はご覧ください。芳香浴のご意見ご感想も「カエルのご意見箱」にお聞かせいただけます。★晴れた日の雲の美しさに感動する季節。食べるものは何でもおいしく「腹肥ゆる秋」、夜長はどっぴり韓流ドラマ漬け。ただひとつ難点は金木犀の香り…★「シネフレイク」を読んで思い出しました。中学の時、「学活」の時間には「歌集を持って、校庭の藤棚の下に集合」の合図で、先生とクラスの皆で歌を歌いました。45分、ひたすらたくさん歌うのです。皆で声を出すので学級崩壊もいじめもない、とても穏やかないクラスでした。いい思い出です。★今回もお問い合わせをいただきました。「でばり通信はまだですか?」…やっとなりました★(笑福姉)

